



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL.073-424-5185

FAX.073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

済生会

わかやま

NEWS

第6号

発行日: 2005.9

～ 理 念 ～

私達は、地域社会に親しまれ、
信頼され、働きがいと誇りを
持てる病院を目指します。

— Information —

この度、27年間の長きにわたって院長を勤められた井関良夫先生が勇退され、その後を受けて7月1日から、この歴史ある済生会和歌山病院をあずかることになりました。

当院は、平成15年10月に和歌山市中心の現在地に移転、新しい病院として生まれ変わって2年経ちますが、新しい地域住民の信頼を得て着実に前進しています。たとえば平成15年度と16年度を比べてみると、1日平均外来・入院患者数は、それぞれ104%、115%と増加。手術数は147%、冠動脈の血管内手術は129%、内視鏡検査は149%、人工透析も153%に増加しています。平成16年度の外来患者紹介率は57%、救急車受け入れ件数は1,231件で、そのうちの44%が入院しており、地域医療機関との連携、急性期病院としての役割を果たせるようになってきたと考えています。

当院は、『地域社会に親しまれ、信頼され、働きがいと誇りを持てる病院』を理念に掲げ、基本方針としては、1) 救急対応と急性期医療を基本に機能と特性を明確にすること、2) 患者さんの立場に立って安全で質の高い医療を効率的に提供すること、3) 透明性、公共性を保ち、地域社会との連携を密にし、相互信頼を確保することを謳っております。今後も、この理念と基本方針を尊重し、市民の皆さんから選ばれ、地域の医療関係者にも信頼される病院であり続けたいと思っています。

そのためには、医療の質の向上と医療安全が両輪となります。私は、これを達成するためにもっと分かり易い言葉で、「家族が診てもらいたい病院」、「思いやりのある病院」、「アカウンタビリティ（納得説明義務）に徹した病院」をめざそうと提唱しております。医療レベルを高め、思いやりがなければ、自分の家族を診てもらおう気にはなりません。しかし、どんなに医療レベルを高めても、医療には予測がつかない部分や危険がつきものです。結果が良くなかったからと訴訟に発展するとすれば、患者さんにも病院にも大変不幸なことです。医療安全の対極にある医療訴訟は、患者さんに納得していただけなかったことに尽きます。行っている医療が良質であること、説明に嘘や誇張がないこと、日々生懸命やっていること、などを心から納得していただくこと（アカウンタビリティ）が医療の根本であると考えています。『この病院で診てもらったのなら、たとえ死んだとしても本望である』と言われるような病院になれるよう、職員一人ひとりが目標をもって努力して下さるよう望んでいます。

今後もより良い病院をめざして努力を続けますので、皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。



病院長 林 靖 二

糖尿病代謝内科のご紹介

糖尿病代謝内科医長 江川 公浩

日本における糖尿病患者さんは年々増加の傾向にあり、平成14年11月に実施された糖尿病実態調査では糖尿病が強く疑われる人は約740万人、可能性を否定できない人を合わせると約1,620万人と糖尿病は国民病ともいえる状況となっており、糖尿病に関連する医療費は一兆円を軽く突破しています。まさに糖尿病は国家的問題となっています。このような情勢の中、この地域における糖尿病診療を担うため平成17年1月に糖尿病代謝内科が新設されました。担当医師は江川公浩（糖尿病学会専門医・研修指導医）、佐藤晋一の2名です。



糖尿病が恐ろしいのはあまり症状がなく、気づいたときには進行してしまっていることです。とくに糖尿病神経障害、糖尿病網膜症、糖尿病腎症の三つの合併症が問題となります。糖尿病神経障害では足のしびれやひどい場合には足の壊疽が発生し、糖尿病網膜症が進行すると視力障害や失明の可能性があります。さらに糖尿病腎症が悪くなると慢性腎不全になり人工透析が必要となります。また、最近では脳梗塞や心筋梗塞の原因となる動脈硬化症の原因の一つとして注目されています。このような合併症を防ぐためには、食事療法や運動療法を徹底し、さらに経口薬やインスリン注射で血糖値を正常化することが必要になります。そのための治療の指導を糖尿病専門医および薬剤師・看護師・臨床検査技師・栄養士・理学療法士からなる糖尿病療養指導士で構成される済生会和歌山病院糖尿病ケアチームが担当しています。

今後とも和歌山市・和歌山県における糖尿病診療の質の向上を目指して努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

看護部－外来のご紹介

看護師長 馬場 博子

看護で選ばれる病院を目指して

当院の外来は、別表の診療科と救急外来、内視鏡室、放射線科を抱えています。看護師長1名、主任1名、看護師5名、准看護師5名、パート5名、看護助手1名の18名のスタッフで外来を運営しています。



外来は、平成15年10月12日にオーダリングシステムとし、平成17年6月から（一部の科を除いて）電子カルテの導入となりました。

救急に関しては、24時間の救急対応ができるように、時間外は救急担当医師1名、病棟担当医師1名、検査技師1名、放射線科技師1名、看護師1名、管理当直看護師1名の救急対応で行っています。また、緊急で内視鏡・血管造影検査や治療が24時間行えるように看護師の待機システムを導入しています。

今後、外来診療は、従来の診療補助業務が大部分を占めていた時代から、患者の日常生活援助の教育・指導が期待されます。また、専門性を必要とされる救急、内視鏡検査、放射線科検査に介助できる看護師を育成し、専門性を高めていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

病院でのソーシャルワーカー（済生会和歌山病院ではケースワーカーという名称を使用していますが）とは、病院に通院している患者様・ご家族様、及び入院して治療、療養中の患者様・ご家族様、更にはこれから病院にかかろうとする方々が安心して治療に専念できるよう、治療や療養の妨げになる生活上の不安、心配などの問題を共に考え、解決への援助を病院の各スタッフとの連携の下、社会福祉の立場から担当する職種です。



例えば、当院には急性期病棟と回復期リハビリテーション病棟がありますが、急性期病院では退院許可がでて、もうしばらく療養が必要な方へ転院先等を紹介したり、回復期リハビリテーション病棟では、介護保険や身体障害者サービス等、社会資源を利用して、主として在宅復帰をすすめる役割や、転院・入所先を紹介する役割を果たしています。

上記役割を行うにあたり、院内はもちろんですが、各関係機関との連携が必要不可欠になってきます。当院では、専任としてソーシャルワーカーが配置されたのは、一昨年からと日が浅く、まだまだ未熟な面も多々ございますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室から

地域医療連携室 主任 上野山 勝代
岩崎 ルリ

平素は地域医療連携室をご利用頂き誠にありがとうございます。

当院では現在日常診療の場ではなかなか実施が困難な食事療法の指導についてお手伝いできればと医師・管理栄養士が中心となり【紹介栄養指導】のシステムを構築しています。

詳細が決定しましたらご案内いたしますので、多数ご利用いただけるようお願い申し上げます。

【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成17年 4月…202件 5月…171件 6月…198件 7月…187件

のご利用頂きありがとうございました。

得津医院 得津 修一先生

大新小学校の近くで開業しています。

地域住民の方々のかかりつけ医として診療を行っています。当院では胸部し線、心電図、超音波検査、血圧脈波検査を実施していますが、診断に難渋した場合には済生会病院へ心電図をFAXで送ったり、し線フィルムを持参してアドバイスをいただきます。また診療している患者様が急変した際には、いつでも迅速に受け入れていただいています。このように気軽に患者様の相談をしたり、紹介できる病院が近くに存在することは非常に心強いです。入院した患者様については、地域連携室で主治医の先生から病状の説明をして頂いてから、病室へ訪問するようにしています。



寝たきり老人訪問診療を実施していますが、済生会病院と24時間連携体制を取ることによって、緊急の際にはいつでも入院治療を受けていただけるため、患者様と家族の方には安心して頂いています。

また和歌山東臨床研究会・症例検討会を開催していただき、いろいろと新しい知識を得ることができ、今後とも病診連携を深めて、診療の幅を広げていきたいと考えています。

済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成17年7月1日より)

| | 内科・糖尿病代謝内科・消化器科 | | | 循環器 | 放射線 | 外科・心臓血管外科 | | 整形外科 | | | 脳神経外科 | | 耳鼻咽喉科 | 腎センター | 眼科 | 皮膚科 |
|---|-----------------|-----|----|---------------|-----|-----------|----|------|-----|------|-------|----|---------------------------|----------|--------------|-----|
| | 2診 | 3診 | 4診 | | | 9診 | 8診 | 13診 | 14診 | リハビリ | 7診 | 8診 | | | | |
| 月 | 午前 山原 | 佐藤 | 井関 | 木村 | — | 重里 | 川後 | 松崎 | 山崎 | 南 | 林 | | 林 | 松尾 椋谷 | 荒井 | 山本 |
| 火 | 午前 文野 | 江川 | | 山本 | — | 駒井 | | 南 | 勝田 | 山崎 | 仲 | | 林 | 松尾 椋谷 | 荒井 | |
| 水 | 午前 山原 | 川口 | | 阪井 | 野村 | 重里 | 川後 | 新患診 | | 西田 | 乾 | | 医大医師 | 松尾 椋谷 | 荒井 | — |
| 木 | 午前 文野 | 江川 | 井関 | 木村 | — | 駒井 | | 松崎 | 南 | 勝田 | 仲 | 林 | 林 | 松尾 椋谷 | 荒井 | 岡本 |
| 金 | 午前 川口 | 佐藤 | | 山本 | — | 川後 | | 山崎 | 勝田 | 松崎 | 中川 | | 林 | 松尾 椋谷 | 宮崎 | — |
| 土 | 午前 | 当番医 | | 木村 ／ 阪井 | — | 特殊外来 | | 当番医 | | | 当番医 | | 2.4週 林 1.3週 医大医師 | 当番医 | 荒井 (第2・4) | — |

肝臓病教室

場 所：済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
 時 間：第3土曜日 午後2時～
 参 加 費：無料

C型肝炎教室

| 月日 | 担 当 |
|-----------|------------|
| 10月22日(土) | 内科医師 看護師 |
| 11月19日(土) | 薬 局 臨床検査技師 |

糖尿病教室

日 程：毎月の第3水曜日
 場 所：済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
 時 間：午後2時～午後3時30分(要予約)

肝硬変教室

| 月日 | 担 当 |
|--------------|----------------|
| 12月17日(土) | 医 師 |
| H18 1月21日(土) | 臨床検査技師 看護師 |
| 2月18日(土) | 薬 局 リハビリテーション科 |
| 3月18日(土) | 栄養管理課 |

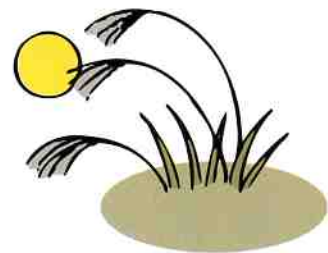
※都合により、日程の変更の場合があります。

研 修 会

第23回 和歌山東臨床研究会・症例検討会

- 日時 平成17年10月29日(土) 午後3時～
- 場所 済生会和歌山病院 7F講堂

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい



診 療 案 内

診 察 日：月～土曜日
 受付時間：午前8時45分～午前11時(但し、予約患者様はこの限りにあらず)
 休 診 日：日・祝祭日(年末年始)
 面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地 域 医 療 連 携 室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187